

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
顕微鏡で見よう ～身の回りの題材を使って～	高	合科 Ⅱグループ (理科)	福島孝一郎

<ねらい>

- ・顕微鏡の使い方や手順を理解する。
- ・興味がある物を採取し、顕微鏡で観察する楽しさを味わう。

学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
1. 始まりのあいさつ	1. 授業の始まりを意識しながら、大きな声であいさつをする。	・起立をして、授業の始まりを意識する。
2. 顕微鏡について質問する	2. 顕微鏡を見たことがあるか、どんな時に使うかを考える。	・生徒の様子を見て、発表させる。
3. 実際に観察する	3. 「ひまわりの花粉」「鳥の羽」のプレパラートを観察する。	・目で見た形との違いを確認させる。
4. 顕微鏡について理解する	4. 顕微鏡の正しい使い方を確認する。 顕微鏡の各部分の名称や使い方の手順について説明を聞き、プリントに記入しながら理解する。	・実際の顕微鏡を使いながら説明する。
5. 班に分かれて観察する	5. 2班に分かれて、相談しながら観察を始める。 身の回りや教室の外に観察する物を探しに行く。 観察した中で、一番良かった物を相談して決めておく。	・教員は、生徒の様子を見守り、必要に応じて支援する。 ・2～3の観察する物を探そう伝える。
6. 観察した物を発表する	6. それぞれの班で観察した物を発表し、一番良かった物を1つだけ見せ合う。	・代表者が発表するよう、声をかける。
7. 終わりのあいさつ	7. 起立をして、元気よくあいさつをする。	

<内容（工夫点など）>

- ・顕微鏡の各部の名称や使い方について学習した後、実際に生徒が観察する物を探し、顕微鏡で観察することができた。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・花粉や鳥の羽などを細部まで観察でき、新しい経験ができた。
- ・生きているボウフラの透けている体や動いている様子を観察することができた。
- ・観察する前に、どのように見えるかを想像させる取組を行っても良かった。